



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第108号(2013年1月31日)



【イラク政府がキルクーク油田の生産量倍増を検討】

キルクーク油田はイラク北部にある、同国最大の油田です。今回イラク政府は同油田の生産量を倍増させる契約をイギリスの石油会社BPと結ぶことを検討しています。

BPは既にイラク南部で古い油田を再開発している国際的な石油会社の一社となります。イラク南部ではイラクの原油生産量を増加させるための再開発が進んでいますが、イラク北部についてはクルド人自治政府とバグダッドとの間での権利問題についての認識の相違などが原因で遅れています。今回のBPとの交渉についてもクルド人自治政府は違法であるとの声明を出しています。

キルクーク油田の生産量は2000年代初めの頃は日産90万バレルほどでしたが、現在は日産20万バレルほどまで落ち込み、イラク政府は日産60万バレルほどまで戻したいと考えているとのことです。

キルクーク油田は2009年にイラク政府によって入札が行われた油田の一つで、当時もロイヤル・ダッチ・シェルが日産82万5千バレルまで戻す提案をしていたものの、価格について両者間で折り合いがつかなかった経緯があります。今回のBPとの交渉もまだ初期段階のため、今後については紆余曲折があるかもしれません。

今回は、2009年に応札した石油会社のほとんどは入札していないようで、理由の一つは現地情勢が不安定なことのようなようです。

バグダッドとクルド人自治政府の間での緊張も高まっており、クルド人自治政府は、たとえば同政府が独自に石油会社にライセンスを提供する権利や、同政府が隣接するトルコに石油を輸出することができるのかといった問題について合意ができていません。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイ空港が香港を抜いて世界3位に浮上】

国際線の乗客数のランキングについて、ドバイ空港は2015年までにロンドンのヒースロー空港を抜いて世界で一番になることを目標としています。2011年は香港に続いて4位でしたが、2012年は香港を抜いて3位になったことが分かりました。

2012年はドバイ空港の国際線の乗客数は5,760万人で、2011年と比べて13.2%増加しました。

ヒースロー空港は既に現状のキャパシティをほぼ使い切っているとされていますが、ドバイ空子については2018年までにそのキャパシティは9,000万人に達すると予測されています。

今回の発表を受けてドバイ空港のCEOはヒースロー空港も既に視野に入ったと発言しています。

2013年の国際線の乗客数については6,540万人に達すると予測しています。

【アブダビを代表する不動産開発会社が誕生】

アブダビの大手不動産開発会社であるAldar PropertiesとSorouh Real Estateが合併して新たにAldar Sorouh Propertiesとなることが発表されました。新会社は約40億ドルの資産を保有し、そのポートフォリオはアラブ首長国連邦の代表的な不動産開発プロジェクトを含みます。

両社はともにアブダビ政府が株式を保有しており、両社の合併によって不動産開発案件の供給過剰の解消に取り組ませる意図もあると現地では言われているようです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイ・グループが債務の再構築について銀行団と合意】

ドバイの統治者によって保有されるドバイ・ホールディングスの部門の一つであるドバイ・グループは、コメルツ銀行など4つの国際的な銀行団と、債務の再構築についての法的な問題の解決について合意しました。

コメルツ銀行など4つの銀行は、2年間に亘る債務の再構築についての交渉で実りがなかったとして、ロンドン国際仲裁裁判所でドバイ・グループに対して法的な手段をとっていました。

今回、4行は額面1ドルにつき18.5セントでローンを売却するという条件で合意しました。このローンは2008年に行われたイスラムのシンジケート・ローンに関するもので、今回の合意の実行にあたっては他の銀行の承諾も必要となります。

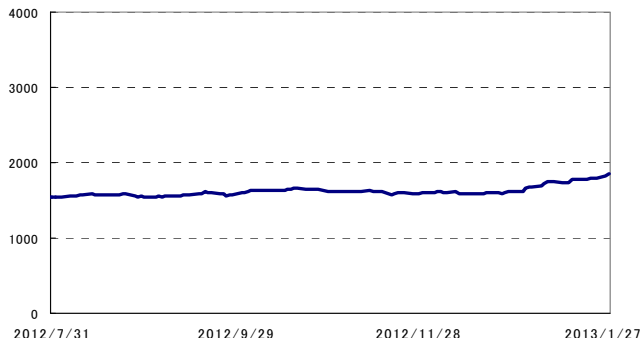


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

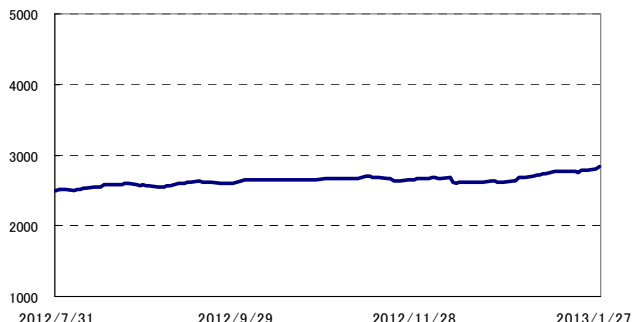


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

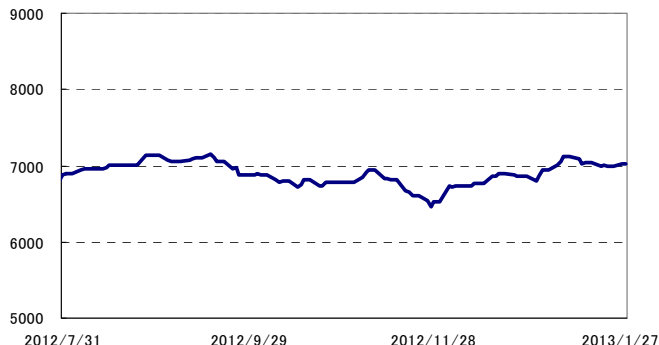
ドバイ金融市場総合指数



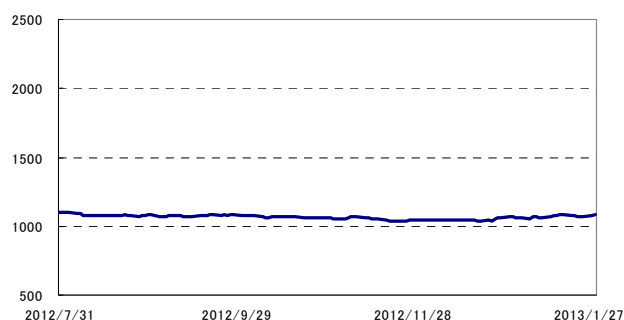
アブダビ証券取引所株価指数



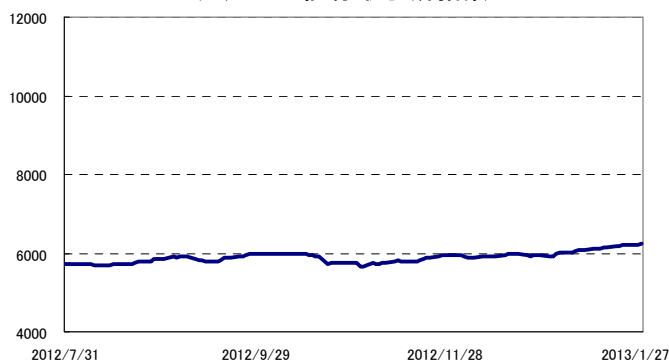
サウジアラビア タダウル全株指数



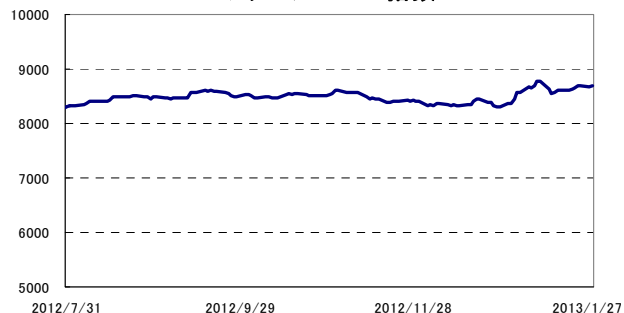
バーレーン全株指数



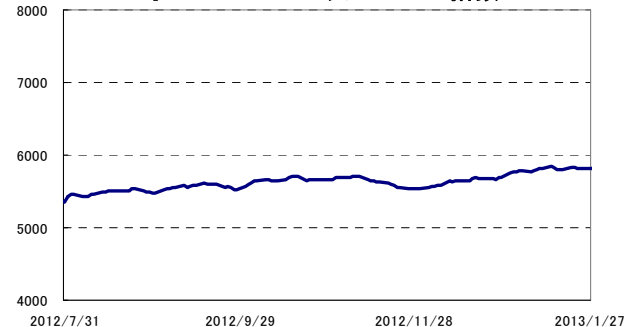
クウェート証券取引所指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。